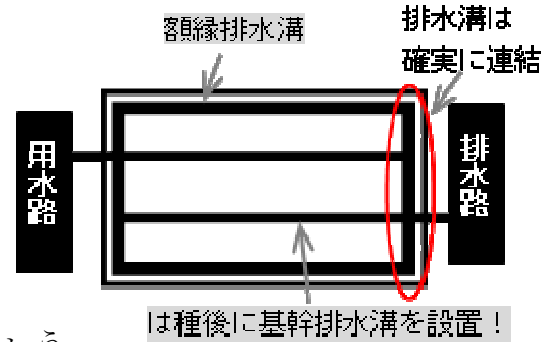


# ハトムギ栽培情報 第1号

① 碎土率を高めるために、早めに額縁排水溝を設置しましょう  
② 適期（5月下旬～6月上旬）に播種し、生育量を確保しましょう

## ● 排水対策

- 適期に播種できるよう耕起前に必ず額縁排水溝を設置し田面が乾きやすい状態にしましょう。



## ● 種子消毒と浸種

- 出芽率向上のため、浸種を兼ねてしっかり消毒を行いましょう。  
消毒剤：ベンレートT水和剤20  
浸種期間：72時間（3日間）  
※水温は、10℃以上を確保
- 浸種後は、風乾してから播種しましょう。

10a当たりの必要量（目安）  
種子 3kg + 薬剤 75g + 水 15ℓ

浸種後の種子を長期間保存する場合は、網袋に浸種した種子を湿った状態で入れ、冷蔵（5℃程度・芽が動かない温度で約1か月）で保存しましょう。

## ● 播種作業

- 生育量を確保するために、5月下旬～6月上旬での適期播種に努めましょう。
- 耕起、碎土・整地、は種、作溝作業は土壌の乾いた日に、一連で実施しましょう。
- 数回にわけて耕起・碎土整地する場合は、  
最初の耕起は、碎土率を高めるためゆっくり丁寧に、  
最終の耕起は、適湿で播種するために、播種当日としましょう。

播種量 3kg/10a  
☆播種が6月中旬に遅れる場合は、  
4～5kg/10aに増やす。  
播種深度 3cm程度

土壌が湿った状態で散布しないと除草効果が悪くなります。

## ● 除草剤の散布

- ラッソー乳剤は「播種後すぐに」・「ムラ無く」散布しましょう。

使用時期		使用薬剤	10aあたり散布量
耕起前または播種前		ラウンドアップマックスロード	200～500ml/(水)50～100L
播種後～出芽前	畝立て播種	ラッソー乳剤	500ml/(水)100L
	平畝播種	サターンバアロ乳剤+ゲザプリムフロアブル	500ml+200ml/(水)100L

※ラッソー乳剤は、平畝では薬害が発生する場合がありますので使用しない。

## ● 肥培管理（10a 当たり）

### ○ 『分施』

	土づくり資材		基肥	追肥 (播種後 30日)
肥料名	苦土石灰	堆肥	基肥 555	LPコート 100
施用量	100kg	1～2t	20kg	40kg

### ○ 『新ハトムギー発』

	土づくり資材		基肥 (播種同時施肥)
肥料名	苦土石灰	堆肥	新ハトムギー発
施用量	100kg	1～2t	50kg

※但し、PHが6.5を超える圃場では、苦土石灰を施用しない。